

令和4年12月15日

(公社)神奈川県病院協会 様

がん克服シンポジウム実行委員会
会長 笹生 正人



第18回がん克服シンポジウム実行委員会
負担金の納入について(依頼)

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より、当実行委員会の運営につきましては、多大なご理解・ご協力を賜り、深く感謝しております。

さて、第18回「がん克服シンポジウム」が令和5年1月28日(土)に開催する運びとなりました。

つきましては、本事業の貴重な運営資金となります実行委員会負担金について、別紙請求書を同封しますので、誠に恐れ入りますが1月27日(金)までにお振込みくださいますようお願い申し上げます。各実行委員会構成団体の皆様におかれましては、経営環境厳しい折、恐れ入りますが本事業の実施についてご理解をいただき、当日のご参加等ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問合せ先

がん克服シンポジウム実行委員会事務局

公益財団法人かながわ健康財団がん対策推進本部内

電話 045-243-6933 FAX 045-243-2019

担当 半田



女性の健康とがん

参加
無料

みらいを守る
子宮頸がん予防

2023

1/28 sat.

14:30～17:00

会場

相模女子大学 3号館 314教室

(相模原市南区文京2-1-1)

小田急線 相模大野駅 北口 徒歩10分

子宮頸がんは、発症年齢が若く「マザーキラー」とも呼ばれますが、ワクチンの接種と定期的な検診の組み合わせにより95%以上予防することができ、WHOも「撲滅することができるがん」と宣言しています。ワクチンは、日本では接種後の多様な症状がメディアに取り上げられ、これまで積極的な勧奨はされてきませんでした。接種後の症状についての研究がなされ、今年度から積極的勧奨が再開されました。若い世代を対象に、正しいワクチンと検診の知識、健康と未来を守るための子宮頸がん予防の大切さを伝えます。

第一部

聖マリアンナ医科大学

医学部医学科小児科 准教授 勝田 友博 氏

自治医科大学附属さいたま医療センター

産婦人科 教授 今野 良 氏



「HPVワクチンを知らなかった」で後悔しないように



みらいを守る
子宮頸がん予防

第二部

トークセッション

お二人の講師と学生(予定)を交えた質疑タイム

定員

200名 (お申込み先着順)

お申込み
お問合せ

公益財団法人かながわ健康財団 がん対策推進本部 (がん克服シンポジウム実行委員会事務局)

☎ 045-243-6933 (平日 9:00～17:00) ✉ kanagawa-gan@khf.or.jp

申込フォーム・Eメールに、1.お名前、2.電話番号、3.参加人数、4.年代 を明記し、1月25日(水)までにお申し込みください。QRコードからもお申込みいただけます。※メールでお申し込みの場合は、件名を「がんシンポ」にしてお送りください。

主催

がん克服シンポジウム実行委員会

神奈川県 (公社)神奈川県医師会 (公社)神奈川県看護協会 (公社)神奈川県歯科医師会 (公社)神奈川県病院協会 (公社)神奈川県薬剤師会 (公財)かながわ健康財団(順不同)

後援

相模女子大学

協賛

住友生命保険相互会社 SOMPOひまわり生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社/東京海上日動あんしん生命保険株式会社 明治安田生命保険相互会社



お申込みフォーム
QRコード